

3. ITI 国際直接投資マトリックス（2010年版）

イ. 調査の目的

国際直接投資マトリックスを開発し制作することは世界の直接投資の状況を俯瞰し、直接投資の分析に極めて有効な方法である。このため、1998年以來原則として毎年、制作を試みているものである。

直接投資統計は、作成する国ごとに作成基準や定義が異なり、統一化されていない問題がある。このため、制作には多くの制約があるものの、主要国間の投資状況が分かる、長期間のデータ利用を可能にする、等を目的としている。

ロ. 調査結果の概要

本報告書は、世界主要国の対内外直接投資額と直接投資残高をマトリックス形式に製表しまとめたものである。使用した数値はOECD加盟国の直接投資統計をもとに長期時系列で作成可能な最新時点までのデータである。

（1）国際直接投資マトリックスの種類

本書に掲載しているマトリックスは、大別すると次の4種類がある。

1) 直接投資額表（フロー表）

a) 対内直接投資マトリックス

OECD加盟各国の対内直接投資統計をもとに作成したマトリックス

b) 対外直接投資マトリックス

OECD加盟各国の対外直接投資統計をもとに作成したマトリックス

2) 直接投資残高表（ストック表）

a) 対内直接投資残高マトリックス

OECD加盟各国の対内直接投資の残高統計をもとに作成したマトリックス

b) 対外直接投資残高マトリックス

OECD加盟各国の対外直接投資の残高統計をもとに作成したマトリックス

（2）総額表と業種別表

2010年版では、総額の表に加え、新たに2業種に分けたマトリックスを掲載している。

1) 総額表 全業種のマトリックス

2) 製造業表 製造業種のマトリックス

3) サービス業表 サービス業種のマトリックス

[注] サービス業種の投資額と製造業種の投資額の和は、全業種の投資額と一致しない。全業種には、製造業種とサービス業種のほかに農業、鉱業などが含まれている。

(3) 製表年次と掲載年次

製表したマトリックスは 1985 年から 2008 年までの 24 年間である。そのうち、本書に掲載しているのは次の年次である。

- 1) 2006 年
- 2) 2007 年
- 3) 2008 年

(4) 関連統計

直接投資マトリックスを活用される利用者に役立つと思われる関連統計をとりまとめて掲載している。

(5) CD-ROM 版

本資料では 2006 ~ 2008 年時点のデータを掲載しているが、CD-ROM 版では長期の時系列データの利用が可能である。